

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

事業の概要		事業開始年度	昭和46年	根拠法令・例規等	備前市栄養委員会規則
総合計画	大項目	基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」	
	中項目	基本計画	06	誰もがいつまでも安心して暮らせるまち	
	小項目	施策	23	生涯を通じた健康づくりの推進	
事務事業名		09	栄養委員会事業		
		問	担当課(室)	保健課	
		合	職・氏名	健康係長・江見清人	
		先	電話	64-1820	
		このシート作成に要した時間			時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	栄養委員	
目的(何のために)	市民の健康づくりをすすめるための「健康づくり(栄養改善)ボランティア」として育成する。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	委員が自らの健康課題に気づき、地域の健康づくりリーダーとして栄養改善事業、地域づくりに取り組むことで、市民の健康づくり意識の向上を図る。	

事業の実績		Do		
目的を達成するための実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度	
	栄養委員会事業	健康づくりを推進する「健康づくり(栄養改善)ボランティア」として、市長の委嘱を受けた栄養委員を育成し、市民の健康増進を図る。 伝達講習会(親子料理教室)、減塩普及事業 他組織(教育機関、保育園、地域の団体等)と連携した食育事業	◎	

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	2,738	2,758	2,736
	必要人員	人	1.36人	1.14人	1.04人
	事業費	千円	12,924	9,915	9,635
	国庫支出金	千円			
	受 益 者 負 担 財 源	千円			
繰入金	千円				
市債	千円				
その他()	千円				
一般財源	千円	12,924	9,915	9,635	
受 益 者 負 担 比 率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	説明		栄養委員が実施する伝達講習会、親子料理教室、学校との連携事業等へ参加した延べ参加住民数		
	結果指標量	人	4,056	3,701	3,496
	対前年比	%	-	91.2%	94.5%
	活動コスト	円	12,924,000	9,915,000	9,635,000
	単位当たりコスト	円	3,186	2,679	2,756

事業の成果					
成果指標名	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
市総会、地区総会、栄養委員研修会(3s)の平均参加率	目標値(A)	85	85	85	85
	実績値(B)	82	80	83	到達目標値
	達成率(B/A)	96.47%	94.12%	97.65%	85
成果指標設定の考え方・式や説明					
市総会、地区総会、栄養委員研修会(3s)の参加平均人数/栄養委員会委員数*100 ※H25 206人 H22年(883÷5)/208*100=85 H23年(849÷5)/207*100=82 H24年(851÷5)/206*100=83					

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	市総会は、昨年度とほぼ同様の参加率だった。地区総会の参加率も同様であった。26年度は、第2次食育推進計画を策定して、実際の取り組みを行う初年度であり、栄養委員研修会を実施する意義や目的を十分に説明するとともに、次世代に向けた研修や委員のニーズにあった研修会を計画している。						

総合評価		総合評価
様々な研修会を開催したが、就労している委員が増えており、参加率の向上までには至っていない。研修会については、参加すれば、委員自身や家族の食生活改善に繋がっているという結果だった。今後も研修会を実施し、委員や家族の食生活改善の実践と委員が地域住民に伝達講習会等で知識の普及を行うことは市民の健康意識を高める有効な事業である。出席しやすい委員会や魅力ある研修会を企画検討していく必要がある。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標	委員のニーズを取り入れた科学的根拠に基づいた魅力ある研修会を企画し、委員が研修会に出席することで、委員自身や家族の食生活改善の実践と地域の食育推進リーダーとして、一人でも多くの市民に知識の普及を行えるよう、引き続き支援していく。食育推進計画に基づいた事業内容にも取り組む。						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標に留意しな